

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 columns: 事業所番号 (0171500499), 法人名 (社会福祉法人 七飯町社会福祉協議会), 事業所名 (七飯町グループホーム ひだまりの家), 所在地 (北海道亀田郡七飯町字中野210-2), 自己評価作成日 (平成25年3月1日), 評価結果市町村受理日 (平成25年3月29日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域との関わりを大切にして、いろいろな状況に連携できる様努力していきたいと思っています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL (http://www.kajigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2011_022_kani=tr ue&JigvosyoCd=0171500499-00&PrefCd=01&VersionCd=022)

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 columns: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号), 訪問調査日 (平成25年3月15日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

13年前、運営母体である七飯町社会福祉協議会が、認知症であっても住み慣れた町でその人らしく穏やかに安心して暮らせるために、行政と一環して1ユニットを開設し、後に地域のニーズに合わせて2ユニットに増設した事業所である。事業所の隣接には系列のデイサービスセンター「なかの苑」、ヘルパーステーション、居宅介護事業所、訪問入浴など各種介護保険事業所があり、有料老人ホーム好日園も隣接している。近くの農家から新鮮な野菜の差し入れがあり、職員と利用者は手作りのおやつやお茶を届けるなどの交流をし、町内の色々な趣味のボランティアが定期的に訪れ、教わった利用者の作品を町の文化祭に展示したり、来訪者に小物の作品を無料で配布して喜ばれ、雑巾を縫って学校に寄付するなど地域に還元している。恒例となっている夏祭りクリスマス会には遠方の家族が孫と共に訪れ、多数の家族が参加し利用者も心待ちにしている行事でもある。管理者は外部評価結果を真摯に受け止め職員と共に改善に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 contain evaluation data for various service aspects.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「住み慣れた町・地域の中で、その人らしく、安らぎと喜びのある日々を過ごす」を掲げ、日々取り組んでいます。	管理者と職員は地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を共有し、利用者が住み慣れた町でその人らしい暮らしの支援を主眼としたサービス提供に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	サークル・文化祭・夏祭り等の地域行事への参加と町内会・近所の農家の方々と交流しています。	絵手紙・お茶の会・歩みの会・書道・押し花などのボランティアが定期的に訪問している。中学生の就業体験を受け入れたり、雑巾を縫って学校に寄付するなど、多岐にわたり交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	交流を通して都度お話ししています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議のみでなく、食事会・クリスマス会等を通し、利用者の方々の日頃の生活の様子を知っていただいています。	地域・行政・家族など多数参加し、定期的に開催している。事業所の運営状況と行事活動・災害対策・利用者の日々の様子を伝え意見を伺いサービスの向上につなげている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に出席していただいたり、利用者の報告を地域包括支援センターにしております。	社会福祉協議会が運営母体である当事業者は、開設当初より行政と一環して、地域のニーズに対応し取り組んでおり常に連携を密にしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	居室に鍵は設置していません。施設の施錠は、外出時や夜間等の必要最低限のみにしています。また、ベッド柵の使用は、ご家族に説明し、同意書をいただいた上で実施しています。	管理者と職員は利用者の人権を守ることがケアの基本であることを共有し、外部研修や内部研修に参加し研鑽を積み、抑圧感のない自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修会等に積極的に参加し、伝達講習を行い防止に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じて包括支援センター等に相談し、常に支援できる体制を取っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に十分な時間をとり、ご家族や利用者に説明し納得の上で契約を結んでいます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に「ご意見箱」を設置し、ご意見・要望を反映できるようにしています。また、普段の生活の様子は、ご家族の面会時に相談・情報提供という形で報告しています。	年2回の恒例行事である夏祭り・クリスマス会には毎回、8割の家族の参加があり、家族会を開催し意見や要望を伺い表出された課題はチームで改善に取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のユニット会議で意見交換を行っています。必要に応じて、ミーティングを開き対応しています。	職員は趣味・食材・医療・備品・他、各担当があり月1回のユニット会議や全体会議の中で意見や要望を伝えたり、希望休や有休、シフト交代なども全員で話し合い反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が休憩時間や有給を取れる様職員を増やしています。また、産休や育児休暇が取得できる体制を整えています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	講師を招き、独自の研修の実施をしています。また、希望に応じ外部研修にも参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症介護実践者研修・リーダー研修等の受入れや町内のSOSネットワークに参加協力しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日常の会話や日頃の些細な変化も見逃さず、観察・見守りしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	些細な変化も家族へ連絡・相談し、情報の共有をしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要に応じたサービス利用を視野に入れて、対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活しているという関係を保つよう、同じ目線に立ち対応しています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	必要に応じ、家族の意見を確認し、情報の共有をしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・知人の面会や外出を推進しています。また、住み慣れた地域への外出(ドライブ)等を積極的にいき、馴染みの関係を継続しています。	以前住んでいた自宅や遠方の実家にドライブし、回想法につなげたり、利用者が作った絵手紙や年賀状、暑中見舞いを知人、友人の宛名を代筆し、関係の継続支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の会話の中から、利用者の考え方を把握し、全体の雰囲気を見ながら係わり合い・支え合いができるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も家族の訪問があり、近況報告や相談にも応じています。また、他施設へ入居された方への面会もしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入浴・食事等の活動は、本人の意思決定を尊重しています。困難な方には、日頃の様子を見て対応しています。	「仕事がしたい」と言う、本人の意志を尊重し洗面台掃除・食器拭き・盛り付け・買物・新聞届け・モップかけなど、職員は一人ひとりの思いをくみ取り支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族・ケアマネージャー・他サービス事業者から情報収集し、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態観察や申し送りにより、把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間の情報交換やケアカンファレンスを行い反映しています。	職員が作成したアセスメント表を基に、家族の意向と要望を取り入れ、モニタリングで新たな課題を検討し、担当者が現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、表情も含め変わったことがあった場合など、分かりやすく個別記録に記入しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外気浴・ドライブ、隣接するデイサービスセンターの温泉等を利用しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	趣味活動ボランティアの協力や施設内の行事に地域の方々に参加していただいています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医に受診していただいています。	従来の主治医の受診は可能であり本人、家族に説明している。医療機関は家族が対応しており、受診結果に関する情報を共有しているが、訪問診療に来てもらうケースもあり、状況で職員の対応もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の生活の中で体調変化が見られた場合、すぐに看護職員が対応しています。(24時間対応)		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の状態把握や退院後の係わりについて、密に関係作りをしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の状態に合わせ、ご家族と話し合いをしてその後の方針の共有をしています。	入居時に終末期の対応について、家族の意向を伺っているが、医療機関へ搬送する希望が多く、事業所内での看取りの経験はないが、事業所として方針を明確にするため検討中である。	事業所として出来る事、出来ない事を明確にし、本人、家族などの意向がずれたまま重度化の時期を迎えることのないよう方針の統一を図り、職員間で共有することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護職員を中心に対応し、他の職員も指示を受け、すぐ対応できるようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員・地域の協力者等との連絡網を作成し、24時間対応できる体制を整えています。また、避難訓練には町内の方にも参加していただいています。	年2回、消防署の協力で日中と夜間想定の実施している。ユニット間の通路に防火扉が設置され、隣接施設との連携や地域協力者と緊急連絡網があり、協力体制を整え訓練にも参加している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々のプライバシーに配慮するように心掛けています。	職員全員は利用者が触れてほしくない部分の情報を共有し、声かけや排泄時、入浴時の対応、病的に不安定な時の支援には特に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の話をよく聞き可能な限り、希望を取り入れる様に支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できる限り、一人ひとりのペースで対応しているが、場合によっては優先できないこともあります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自己決定を尊重し、TPOに合わせた服装を着られるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節や行事に合わせて、馴染みの物や目新しい物を一緒に準備し食べています。利用者の体調に考慮し、準備や後片付け等手伝っていただいています。	家庭菜園や、頂く新鮮な野菜、漁師直営店からの魚、貝類など旬の食材を利用して食事を提供している。ホテルでのランチや、回転寿司に出掛けたり、全員で作る手作りケーキなど楽しい食事に配慮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	それぞれの状態・習慣に応じて、食事量や水分量を確保しています。水分は、好みの物など多種類提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は必ず、口腔ケアをしています。必要に応じて介助しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	それぞれの排泄パターンに合わせた時間毎、行動前後誘導で、失禁の軽減を計っています。日中と夜間帯で下着・オムツ等を使い分けて支援しています。	日中は、むれ防止のために布パンツとパットのみにし、排泄パターンを把握して、動作を見逃さず声かけ、誘導などで失禁の減少に努め、野菜や水分摂取、乳酸飲料を取り入れるなど排泄支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の物を多く摂っていただく様になっています。体操や日常での手伝い動作でも身体を動かしていただく様取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	希望やタイミングに合わせて入浴していただいています。希望されない時は、翌日の入浴やシャワー浴・足浴などでも対応しています。	利用者の体調に合わせて入浴支援をしている。左右に移動できる浴槽は個々の状況に合わせて使用でき、隣接のデイサービス事業所にある温泉は希望があれば、自由に利用できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休息する時間を設け夜間の睡眠に影響のない程度に休んでいただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の支援と病状の変化・確認に努めています。変化時には主治医に報告しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できる限り、希望に沿うよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節毎の行事や天候、家族の協力を得て、ドライブ・買い物ができる様外出の機会を作っています。	利用者の気分転換やストレス発散、五感の刺激の機会として、天気の良い日は外出支援をしている。家庭菜園の側に芝生とあずま屋があり、散歩に最適な環境に整備している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは、施設預かりにしていますが、買い物時にはご本人にお金を払っていただく様にしています。別にお財布を自己管理している入居者もいます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望があれば、支援できる様努めています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を出す為に花や行事の飾りをしています。不快な臭いなどは排除しています。気温・湿度には特に気を配っています。	ユニット間の通路は広く、機能訓練にも利用できるようスロープになっている。壁面には、趣味で描いた100号の絵や中学校美術部の絵が掛けられており、これらは寄付によるものである。懐かしい音楽が静かに流れ、一輪の生花が随所に飾られてあり、家具の配置も家庭的な空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座る場所を工夫して、気を配っています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの生活用品を使用させていただいています。	陽が当たるように設計されている居室は明るく、在宅当時の家具や日用品が持ち込まれ、家族がゲルマジックで飾り付けるなど、居心地の良さに工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・トイレ・浴室等に手すりをつけ、安全面に配慮しています。又、浴室には浴槽台を使用しできるだけ自立した入浴ができる様配慮しています。		